

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入浴について、曜日を定めていた。しかし定めようには行かないので、柔軟にその方に合わせた入浴支援をしている。曜日や時間を職員の都合で定めない入居者に合わせた楽しめる入浴をしていきたい。	曜日、時間は定めない。一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴支援を実施する。	7月23日の全体会議で左記目標に向けての検討介護を行った。取り組み内容としては毎朝の食事時間に、今日お風呂に入りたい方の希望を聞き午前中が良いか午後が良いか夜が良いかその方の希望に沿う入浴を7月24日から実施していく。なかなか意向や希望を伝えられない方については、職員からお風呂に入りましょうかと働きかけていく。	1ヶ月
2	1	正寿の光は常に基本理念に基づき、日々のケアを実施している。又共有も図れていると考えるが、現基本理念は法人全体で使っている理念であるため、正寿の光職員全員で地域密着型の意義を踏まえた、事業所理念を作り上げることでさらに事業所の質向上を図れるのではないかと考える。	職員全員で、目標となる正寿の光基本理念を作り上げて共有、実践を図る。	理念の再構築という事で事前にキーワードを考えてもらった。7月23日の全体会議でKJ法を用いて、正寿の光基本理念を作り上げた。基本理念を作り上げる過程において、職員はいろいろ考え、他の職員の意見に耳を傾けることでチームワークが一段と強まったと考える。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。